

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ストライダーズ  
 コード番号 9816 URL <http://www.striders.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 兼 CFO  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 早川 良一  
 (氏名) 前田 嘉也

TEL 03-5777-1891

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	725	27.7	26	—	29	—	21	△66.0
26年3月期第1四半期	568	57.9	△39	—	△0	—	63	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 8百万円 (△67.2%) 26年3月期第1四半期 26百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	0.25	0.25
26年3月期第1四半期	0.79	0.79

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第1四半期	3,153	—	1,149	35.6	13.44	
26年3月期	2,309	—	1,140	48.2	13.32	

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,123百万円 26年3月期 1,113百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	3,100	15.2	70	52.9	70	△23.4	50	△62.6	0.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の業績評価は通期ベースで行っており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	83,555,896 株	26年3月期	83,555,896 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	25,298 株	26年3月期	25,298 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	83,530,598 株	26年3月期1Q	80,305,698 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた金融政策による円安への転換と経済政策による企業業績の回復により、緩やかな景気の回復基調が継続しております。また、個人の消費マインドも消費税増税に伴う物価上昇やガソリン価格の高騰等により一旦落ち込んだものの、雇用環境の改善も支えとなり、緩やかな回復傾向にあります。

このような経済状況下、当社グループ(当社及び連結子会社)は、M&Aにより新たに株式会社倉敷ロイヤルアートホテルを連結子会社化し収益源の獲得を図る一方、経費等のコスト削減等に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高725百万円(前年同四半期比27.7%増)、営業利益26百万円(前年同四半期は営業損失39百万円)、経常利益29百万円(前年同四半期は経常損失0百万円)、四半期純利益21百万円(前年同四半期比66.0%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成し、前年同期比を算出しております。

#### ①IT関連事業

IT関連事業につきましては、モバイルリンク株式会社において、車載端末システムの新機種開発を行っており、既存顧客を中心にシステム入替を提案する営業活動を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のIT関連事業の売上高は50百万円(前年同四半期比97.8%増)、営業損失は4百万円(前年同四半期は営業損失14百万円)となりました。

#### ②企業再生再編事業

企業再生再編事業につきましては、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において、資産売却等のリストラによる収支改善や資金調達支援、M&Aに関するコンサルティング業務等に取り組んでまいりましたが、当第1四半期連結累計期間中に案件を受注することができませんでした。

この結果、売上は計上されておらず、営業損失0百万円となりました。なお、前年同四半期は売上高0百万円、営業利益0百万円であります。

#### ③不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、新設住宅着工戸数は緩やかな減少基調にあるものの、都市部では空室率の改善傾向が継続し、マーケットは堅調に推移いたしました。このような状況下において、株式会社トラストアドバイザーズは、ワンルームやコンパクトタイプの物件管理に特化し、入居率向上や徹底した滞納管理、賃料水準の維持を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の不動産賃貸管理事業の売上高は427百万円(前年同四半期比26.4%増)、営業利益は25百万円(前年同四半期比321.2%増)となりました。

#### ④食品関連事業

食品関連事業につきましては、有限会社増田製麺において、神奈川エリアにおける横浜家系ラーメンを中心とした中華麺等の製造販売を行っており、新規顧客の開拓や業務の効率化を図り、コスト削減等に努めてまいりましたが、大口顧客の自家製麺化等により取扱高が減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の食品関連事業の売上高は39百万円(前年同四半期比25.1%減)、営業利益は0百万円(前年同四半期比93.9%減)となりました。

#### ⑤ホテル関連事業

ホテル関連事業につきましては、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテルを運営しており、政府の観光立国推進に向けた各種施策や景気回復に伴う訪日外国人数の増加等により、宿泊単価、稼働率共に高水準を維持いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のホテル関連事業の売上高は208百万円(前年同四半期比37.8%増)、営業利益42百万円(前年同四半期比623.6%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,329百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が207百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は1,823百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,016百万円増加いたしました。これは主に株式会社倉敷ロイヤルアートホテルを連結子会社化したこと等により有形固定資産が816百万円、無形固定資産が154百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,153百万円となり、前連結会計年度末に比べ843百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は576百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円増加いたしました。これは主に金利スワップが28百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は1,426百万円となり、前連結会計年度末に比べ773百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が552百万円、繰延税金負債が214百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,003百万円となり、前連結会計年度末に比べ835百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,149百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益21百万円の計上、その他有価証券評価差額金が16百万円増加し、繰延ヘッジ損益が28百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は35.6%（前連結会計年度末は48.2%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月14日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結累計期間において、株式会社倉敷ロイヤルアートホテルを株式の取得により連結子会社化したことに伴い、連結の範囲に含めております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,333,824	1,126,493
売掛金(純額)	96,456	111,599
有価証券	9,815	8,868
たな卸資産	13,918	22,133
繰延税金資産	11,355	11,355
その他	36,535	48,995
流動資産合計	1,501,905	1,329,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	334,480	925,876
土地	125,663	348,663
その他(純額)	9,054	11,254
有形固定資産合計	469,198	1,285,794
無形固定資産		
のれん	224,656	378,774
その他	6,409	6,344
無形固定資産合計	231,066	385,118
投資その他の資産		
投資有価証券	65,044	110,910
その他	42,079	42,018
投資その他の資産合計	107,123	152,929
固定資産合計	807,389	1,823,842
資産合計	2,309,294	3,153,287
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	74,493	83,678
短期借入金	54,900	—
1年内返済予定の長期借入金	78,396	111,108
未払金	53,919	62,758
未払法人税等	13,443	10,052
賞与引当金	13,285	16,618
預り金	87,699	79,404
金利スワップ	6,296	34,870
その他	132,147	178,168
流動負債合計	514,581	576,659
固定負債		
長期借入金	420,866	973,555
退職給付に係る負債	6,241	9,902
長期預り敷金保証金	225,556	227,480
繰延税金負債	1,087	216,056
固定負債合計	653,750	1,426,994
負債合計	1,168,331	2,003,654

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,403,421	1,403,421
資本剰余金	89,015	89,015
利益剰余金	△369,318	△347,648
自己株式	△2,958	△2,958
株主資本合計	1,120,159	1,141,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△836	16,048
繰延ヘッジ損益	△6,296	△34,870
その他の包括利益累計額合計	△7,133	△18,821
新株予約権	409	409
少数株主持分	27,526	26,215
純資産合計	1,140,962	1,149,633
負債純資産合計	2,309,294	3,153,287

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	568,521	725,849
売上原価	328,507	436,604
売上総利益	240,013	289,244
販売費及び一般管理費	279,949	262,495
営業利益又は営業損失(△)	△39,936	26,748
営業外収益		
受取利息	5	8
受取手数料	297	1,489
受取配当金	48,759	94
貸倒引当金戻入額	757	1,051
有価証券売却益	—	1,047
その他	1,589	4,026
営業外収益合計	51,408	7,717
営業外費用		
支払利息	2,415	2,431
租税公課	—	2,939
有価証券評価損	8,020	—
その他	1,796	43
営業外費用合計	12,232	5,415
経常利益又は経常損失(△)	△760	29,050
特別利益		
為替差益	66,087	—
その他	—	307
特別利益合計	66,087	307
税金等調整前四半期純利益	65,327	29,358
法人税、住民税及び事業税	4,505	9,073
法人税等合計	4,505	9,073
少数株主損益調整前四半期純利益	60,821	20,284
少数株主損失(△)	△2,867	△1,385
四半期純利益	63,688	21,670



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	60,821	20,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,623	16,885
繰延ヘッジ損益	—	△28,574
その他の包括利益合計	△34,623	△11,688
四半期包括利益	26,197	8,595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,065	9,981
少数株主に係る四半期包括利益	△2,867	△1,385

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T関連 事業	企業再生 再編事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	ホテル関連 事業	その他の 事業			
売上高									
外部顧客への 売上高	25,303	500	338,533	53,116	151,067	—	568,521	—	568,521
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	17	—	—	17	△17	—
計	25,303	500	338,533	53,133	151,067	—	568,538	△17	568,521
セグメント利益又 は損失(△)	△14,155	134	6,070	6,718	5,885	△141	4,510	△44,447	△39,936

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△44,447千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「食品関連事業」セグメントにおいて、当社連結子会社である有限会社増田製麺の株式を買い増し、完全子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては36,000千円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T関連 事業	企業再生 再編事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	ホテル関連 事業				
売上高									
外部顧客への 売上高	50,050	—	427,860	39,747	208,190	—	725,849	—	725,849
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	38	—	—	38	△38	—
計	50,050	—	427,860	39,785	208,190	—	725,887	△38	725,849
セグメント利益又 は損失(△)	△4,604	△41	25,569	406	42,583	—	63,913	△37,164	26,748

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△37,164千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、株式会社倉敷ロイヤルアートホテルの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ホテル関連事業」において1,075,156千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントから「その他の事業」を除外しております。これは、同事業のグローバル芸術家有限責任事業組合が所有しておりました絵画作品について売却が完了し、平成26年4月に清算終了したためであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ホテル関連事業」セグメントにおいて、株式会社倉敷ロイヤルアートホテルを連結子会社いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては162,443千円であります。